

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	C A D演習		
英文授業科目名	CAD Laboratory		
開講年度	2008年度	開講年次	4年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	知能機械工学科		
担当教官名	石川 晴雄		
居室	東4-406		

公開E-Mail	授業関連Webページ
ishikawa@mce.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>主題：機械系3次元CADソフトウェアの使用方法を学ぶとともに、2次元図面による製図の考え方とは根本的に異なる立体画像をベースにして形状設計を行っていく考え方を学ぶ。</p> <p>達成目標：機械系3次元CADソフトウェアの基礎的使用方法を学ぶとともに、立体の集合演算による作画、スイープなどの機能の習得を通して、立体形状の3次元CAD的な形状構成の見通しを付ける能力の獲得を目標とする。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
マシンデザイン基礎、マシンデザイン演習第一、同第二

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
なし

<b>【授業内容とその進め方】</b>
<p>第1回目は3次元CADの産業界での有用性について講義</p> <p>第2回目以降については、画面の構成、曲線、2次元およびソリッドモデリングの各種機能を基礎から応用へ順に演習する。</p> <p>途中で、授業の進展に合わせた3回の課題の提出を行う。</p> <p>授業時間外には、配布した資料に基づき、あるいは自身の理解により、授業で教えるCADの機能以外についても演習することが望ましい。</p>

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

3回の課題の提出状況(内容の完成度)および出席状況で判断する。  
約80%以上の完成度のものに単位は付与する。ただし特別な理由以外での欠席がある人には単位は認めない(やむを得ない欠席は理由を必ず連絡すること)。

### 【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、電話、メールで事前にアポイントを取ること。

### 【学生へのメッセージ】

授業で用いる3次元CADソフトはハイエンドCADであり、実際に産業界で使用しているものである。その立体作画機能を習得して、その面白さ、有効性などを体験してください。授業で扱う範囲は限られていますが、ソフト機能はさらに深く、広いものがありますので、自身で機能の開拓を試みてください。

### 【その他】